



市民しんぶん東山区版

こちら東山



12/15

東山区の総人口:39,056人
 男性:16,492人
 女性:22,564人
 世帯数:21,016世帯
 平成27年9月1日現在(推計)
現在公表している最新の数値です。
 国勢調査の結果が判明し次第、更新します。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/higasiyama/>

火災のない安心安全な東山区へ

12月に入ると空気が乾燥し、暖房器具を使う機会も多くなることから、火災が発生しやすくなります。また、年の瀬の慌ただしさから、火の取り扱いもおろそかになりがちです。ご家庭でも火の始末に注意し、明るい新年を迎えましょう。

本年も残りわずかとなりました。年の瀬を安全に過ごし、明るい新年を迎えられるよう、火の取り扱いには十分気を付け、共々に火災のない東山区を目指してまいりましょう。



京都市長 門川 大作

「年末防火運動」

12月15日(火)～31日(木)

全国統一防火標語
無防備な心に火災が かくれんぼ

「消防団年末特別警戒」

12月20日(日)～31日(木)

区民の皆様が安心して新年を迎えられるよう、東山消防団では恒例の「消防団年末特別警戒」を行います。期間中、巡回パトロールや広報活動などを行い、年末の出火防止を区民の皆様と呼びかけます。



火災防止のために実践していただきたいこと

暖房器具による火災の防止

暖房器具による火災は、石油ストーブや電気ストーブに燃えやすいものが接触したり、消火せずに燃料補給を行うなど、器具の誤った使用方法により発生します。



放火火災の防止

京都市内では、本年31件(10月30日現在)の放火火災が発生し、火災原因のトップとなっています。放火火災は、いつ、どこで発生するかわかりません。



放火火災防止のために、次のことを実践しましょう!

- 1 建物の周りなどに、燃えやすい物をみだりに置かないようにしましょう。
- 2 門扉や物置にはしっかり鍵を掛けて、不審者の侵入を防ぎましょう。
- 3 夜間には屋外の照明を点灯するなど、明るくしましょう。
- 4 センサーライトなど、放火火災の防止に有効な機器を設置しましょう。
- 5 放火火災を防ぐための地域活動に、積極的に参加しましょう。
- 6 その他、車やバイクのボディカバーは防災品を使うなど、様々な放火防止対策を進めましょう。

油なべなどによる火災の防止

東山区では、本年9件(10月30日現在)の火災が発生し、そのうち5件の火災が、飲食店から発生しました。

飲食店の火災では、油なべやこんろ付近が関係するものが多く、その場を離れる、他の事に気を取られるなどの原因があります。



問合せ 東山消防署 (☎541-0191)